

令和4年度事業の状況

1、事業の状況

(1) 妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

- ① 保存地区内における現状変更行為申請書の受付事務及び毎月定例的に統制委員会を開き、次に示す現状変更申請事項の審議を行った。

4月20日・審議事項

破風板等改修	1件	
低圧線新設	2件	
塀壁工事	1件	
建物撤去・事務所及び倉庫新築	1件	計5件

5月20日・審議事項

住居除却	1件	
妻籠町並み交流センター外構工事		
妻籠町並み交流センター駐車場整備		
妻籠分館取壊し工事	1件	
建物改装工事	1件	計3件

6月20日・審議事項

土蔵修繕工事	1件	
鉄塔回線標識塗装塗替え等	1件	
群状択伐	6件	
えんじゅの木枝払い	1件	
水道管布設工事	1件	
鳥害対策用品取付	1件	計11件

7月20日・審議事項

樹木伐採	1件	
立木伐採及び枝払い	1件	
土蔵屋根修繕	1件	
妻籠宿防災施設更新工事	1件	
妻籠郵便局模様替工事	1件	計5件

8月22日・審議事項

電柱及び電線の移設	1件	
堰板修繕	1件	
倒木処理及び雑木伐採	1件	
引込線新設	1件	
舗装工事	1件	計5件

10月20日・審議事項

門除却	1件	
歩行者専用標識の移転	1件	
群状択伐	4件	
引込線新設	1件	
車庫門屋根葺き替え	1件	
道路築造工事	1件	計 9件

11月21日・審議事項

堰板・堰破風修繕	1件	
店舗増築工事	1件	
群状択伐	1件	
護床ブロック箇所のコンクリート復旧等	1件	
ガードレール設置工事	1件	
住居除却	1件	
水槽巡視路手摺修繕工事	1件	
共同支線防護管の新設	1件	
配電線設備の保安伐採	1件	
ユーアイ住宅長坂団地改修工事	1件	
引込線新設	2件	計 12件

12月20日・審議事項

引込線新設	1件	
コンクリート舗装	1件	計 2件

1月20日・審議事項

土蔵下屋修理工事	1件	
樹木倒壊防護装置除去	1件	
道路側溝の修繕	1件	計 3件

2月20日・審議事項

危険木伐採	1件	
電気機器用冷却水配管の修繕	1件	
雨樋修繕	1件	
梅の木・支障木伐採	1件	
群状択伐	3件	
配電線設備の保安伐採	4件	
道路改良工事	1件	
手摺設置	1件	計 13件

3月20日・審議事項

群状択伐	2件	
筍伐採	1件	
重伝建補助事業（屋根修繕）	2件	
本柱新設及び低圧線・引込線張替	1件	
看板新設	1件	
変圧器の揚替ほか	1件	
店舗修繕	1件	
旧妻籠小学校グラウンド整備工事	1件	
高圧線の張替・開閉器の撤去	1件	計 11 件

合計 79 件

② 防災施設の点検の実施

9月29日、宿場内にある消火栓の点検作業を行った。総務委員会を中心に南木曾町観光協会、南木曾町教育委員会と協働し、14名が参加した。1月26日の文化財防火デーは、「地震等災害時における避難について」と題し、木曾消防署南分署職員の講和を妻籠宿ふれあい館にて行い、36名の参加があった。

③ 全国町並みゼミへの参加

今年度の町並みゼミは6月11・12日に新潟市で開催された。新型コロナウイルス感染拡大を鑑み遠方への移動を避け、昨年に引き続き不参加となった。

④ 安曇野市で開催された「信州歴史的まちなみフォーラム 2022in 安曇野」が10月22日に開催され、正副理事長が参加した。

(2) 建築物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

① 「一石栃立場茶屋」建物の維持管理、及び近辺の草刈等を行った。無料休憩所として通年開放し、管理人を置き馬籠峠を歩く旅人を接待した。また、アンケート調査を行い、要望等を集計した。これをもとに次年度以降の観光客へ配慮したより快適な観光地づくりをめざしたい。一石栃立場茶屋の水源調査及び清掃を定期的に行い、安定した水の供給に努めた。今後保存家屋である茶屋建物の修理等維持管理を円滑に進めるため、土地建物所有者の牧野良平氏より譲り受けた。

② 「一石栃白木改番所」近辺の草刈、除草剤の散布及び子安観音への経路の草刈を行い、自然環境と景観整備のために植栽したイロハモミジの追加肥料等景観維持に努めた。

③ 「愛会尾又屋」を田立和紙紙漉き工房として活用している。

④ 「まつや」については、観光客が施設を利用中、安心してゆっくり散策できる環境づくりに努めているが、今後観光客の増加に期待している。また周辺の草刈等を定期的に行い維持管理に努めた。

⑤ 「旧田原家」は財団の役員会、案内人の会の勉強会、下町のサロン等有効に活用することができた。

⑥ 所有する建物の維持管理と保存事業の継続のため、尾又の旧田口家を旅行会社の妻籠営業所として貸し出しを継続している。

(3) 文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

- ① 妻籠城址の草刈、清掃作業、登山道の整備等維持管理に努めた。また、宿場内の水車小屋周辺、口留番所等の立木の枝払い等の作業を行い景観の維持管理に努めた。
- ② ホームページにて、活動報告、広報「妻籠宿」等情報発信に努めた。
- ③ 平成24年度元気づくり支援金事業と昨年度町の補助金によりさらに充実・整備した古い農機具を、一石栃立場茶屋においてハイカーに「縄縷い」と「薪割」体験に利用していただくことができた。
- ⑤ 道標・案内看板の点検見直しと更新を行なった。

(4) 文化の向上を図るための調査・普及に関する事業

- ① 広報「妻籠宿」を4回発行し、妻籠地区全区民に配布するとともに、関係機関・友好団体、空き家持ち主、希望者へ幅広く送付した。
- ② 新型コロナ感染拡大対策防止のため中止されていた第55回「文化文政風俗絵巻之行列」を3年ぶりに規模を縮小し、郡内居住者のみの参加で開催した。生憎の雨模様となったが、無事行うことができた。
- ③ 新型コロナ感染拡大に伴い中止されていた第45回「妻籠冬期大学講座」を2月4日に3年ぶりに開催した。妻籠町並み交流センターで初めて行い、46名の参加があった。
- ④ 「妻籠宿案内人の会」の事務局及び学習会の支援等を行った。
- ⑤ 衣装管理部員を中心に、行列衣装の整理虫干し等を定期的に行い次年度開催に備えた。
- ⑥ 本年度17回目となる狼煙あげを広く木曾郡内にも呼び掛け、快晴のもと、南木曾町6か所を始め、北は塩尻市奈良井城跡から南は馬籠峠までの全14か所延べ187名の参加があった。今回は、塩尻市東地区地域づくり連絡協議会が協賛参加した。今後は木曾谷全体の狼煙リレーが課題項目となっている。

(5) 文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

- ① 財団所有の尾又地区景観保護地にあるミツバツツジ・イロハモミジの追肥料、下草刈等の手入れを行い保護管理に努めた。
- ② 妻籠城址の登山道の環境整備に努めた。
- ③ 特定外来生物のオオキンケイギク・アレチウリ・オオハンゴンソウ・セイタカアワダチソウ等の除去作業を環境保全委員が中心となり観光協会の若者及び愛友会の協力を得て行い、妻籠地区の環境整備に努めた。
- ④ 重伝建地区内にある男埴国有林内の分収育林伐採計画に伴い、2021年に立ち上げた男埴特別委員会において勉強会・現地見学を行うなど災害を防ぐため分収育林の動向把握に努めてきた。6月に森林管理署より男埴山分収育林については契約解除の報告があり、当初の目的にはほぼ達したため特別委員会を解散した。

(6) 重要伝統的建造物群保存地区内において公開に必要とする事業の受託

- ① 町営駐車場の管理受託事業を継続し、公益事業に資することができた。また、利用者へのサービス向上を図ると共に、周辺の環境整備に心掛け、草刈・花植え等積極的に美化に努めた。
- ② 旧妻籠中学校の管理受託を行い、校舎内及び周辺の清掃と環境整備に努めた。

(7) 関係機関、連携団体との集落保存、自然景観の保護、地域づくりに関する事業

- ① 木曾町で行なわれた木曾風景街道推進協議会総会に2名参加した。令和3年度より藤

原理事長が会長を務める。木曾風景街道推進協議会主催の中山道研修会に9名参加し、関ヶ原宿と今須宿を見学した。8月に木曾町開田高原で開催された「外来植物駆除作業及び講習会」に理事長が参加した。また、10月に赤沢自然休養林で開催された「ゼロカーボン推進に向けた学習会」に愛会より2名が参加した。

② その他の関係団体との交流

藤原義則理事長対応

- ・(公社)日本ナショナル・トラスト協会
- ・地域づくりネットワーク長野県協議会
- ・木曾観光地域づくり戦略プロジェクト会議
- ・長野県インバウンド推進協議会
- ・日本遺産「木曾路」事業検証・検討委員会
- ・第6次木曾広域連合広域計画策定委員会
- ・NPO法人全国町並み保存連盟
- ・信州豊かな環境づくり県民会議
- ・木曾谷狼煙揚げ連絡会
- ・信州歴史的まちなみネットワーク

横山純常務理事対応

- ・妻籠宿保存地区審議会
- ・南木曾町観光協会
- ・木曾路氷雪の灯祭り実行委員会

(8) 前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

- ① 中央駐車場の経営・管理事業を継続し、新型コロナ感染拡大のため大幅に利用客が減少していたが、マスクの着用・毎朝の体温測定及び消毒液等を整備して感染対策に注意を払いながら公益事業に資することができた。また、利用者へのサービス向上を図ると共に、周辺環境整備に心掛け、草刈・花植え等積極的に美化に努めた。利用客は戻りつつある。
- ② 「木犀庵」を風俗行列の衣装管理やその他会議等に幅広く活用した。
- ③ 「南木曾町・妻籠健康マラソン」は新型コロナ感染拡大のため中止となった。
- ④ テレビ撮影・書物での紹介等妻籠宿に適合した企画に対し協力と適切な指導を行った。
- ⑤ 第49回新春放談会を新型コロナ感染拡大に配慮しながら1月4日に開催し、町長・教育長以下14名の参加があった。
- ⑥ 南木曾町リニア中央新幹線対策協議会に理事長と常務理事が参加した。
- ⑦ コロナ禍の中、2020年度日本財団より補助金交付を受け、一石栃立場茶屋と事務所入口及び町営第1駐車場管理棟に設置した体温検知器及びアクリルガードにより、新型コロナ感染拡大に留意しながら活動を継続することができた。